

デマンド監視システム導入による契約電力の削減について

「照明のLED化、高効率空調機の導入したのに思ったより月々の電気料金が下がっていないな」と感じていませんか？

Point1 契約電力の見直し

電気料金のうち、基本料金は契約電力で決まります。省エネ機器を導入しても契約電力を変更しなければ消費電力削減が電気料金の削減につながりにくいのです。契約電力は最大需要電力(デマンド値)で大きく変わります。デマンド監視装置の導入によってデマンド値を抑制し、電力会社と協議して、**契約電力を低減することが電気料金削減のポイントになります。(※高圧業務用電力又は高圧電力の契約に限る)**

Point2 電気料金の仕組み

電気料金は、「基本料金」+「使用に応じた料金の合計」です。基本料金は12ヶ月で最も使用量の多い月を基準に決まります。1ヶ月の中で最大の値がその月のデマンド値となり基本料金が決まります。**最大のデマンド値をできるだけ低くすること >>> 基本料金を安くできる**

Point3 デマンド監視装置

- デマンド値を管理することにより契約電力を抑えることができ、電気量金が低減できます
- 電気の使いすぎを知らせてくれるので、みんなが電気の使い方を考えるきっかけになります
- 今までわからなかった1日の電気の使い方がわかり、省エネのヒントがみつかります
- 電気使用量の削減はCO2の削減にもつながり地球温暖化対策に貢献します

※電気の基本料金を低減

※省エネ意識の向上

※電気使用量を「見える化」

※地球温暖環境に貢献